

あんぜんだより

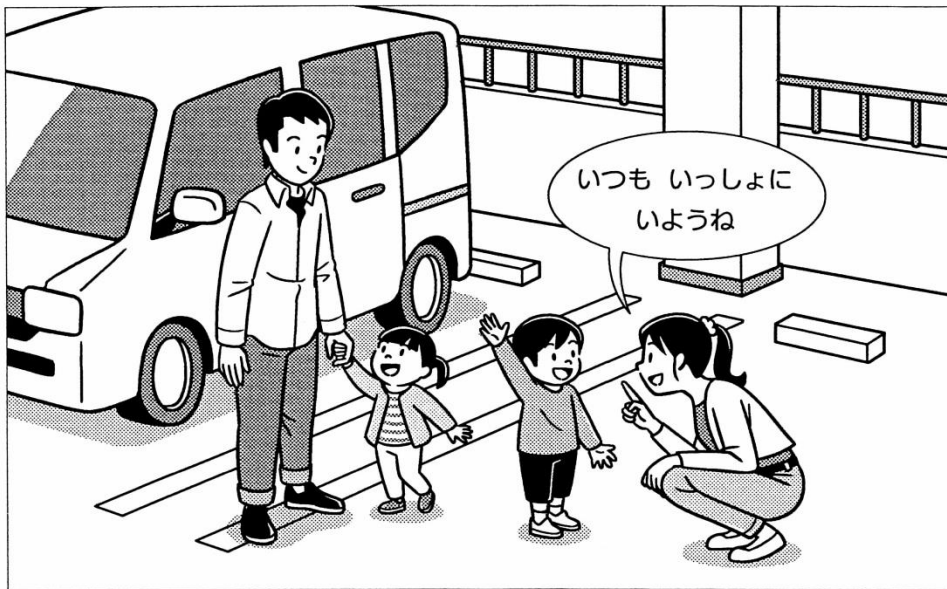
監修 全国学校安全教育研究会／東京都荒川区立南千住第二幼稚園 園長 立石晃子先生



子どもだけにしない 子どもだけにさせない

外出の時は 必ず保護者が付き添い、子どもと一緒にいることが大切です。外出先で保護者のもとを離れると、どのような危険があるのかを再確認して、少しの時間であっても子どもだけで行動しないこと、させないことを徹底しましょう。

でかける ときの やくそく



でかけた ときには かならず おうちの おとなの ひとと いっしょに いようね。すこしの あいだでも こどもだけに ならないように してね。

保護者の方へ 大型商業施設などに設けられた休憩スペースやフードコートなどで、子どもだけで待たせている様子を見受けますが、不審者に狙われる危険があります。トイレも、中に不審者が潜んでいる可能性があるため、必ず中まで保護者が付き添いましょう。店舗外や、店舗内でも奥まった場所にあるトイレは、特に注意が必要です。駐車場では、不審者の危険だけではなく、交通事故の危険もあります。外出時には、大切な子どもの命を危険から守るために、保護者は子どものそばから離れず、常に子どもと周囲に気を配りましょう。

こどもだけに になると どんな あぶない ことが あるのかな



きゅうけいベンチ

すこしの あいだだからと
いって こどもだけで いると
わるい ひとから ねらわれて
しまうかも しれないよ。
おうちの おとなの ひとと
いっしょに いようね。

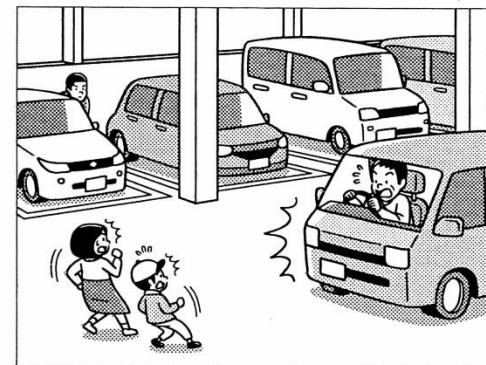
トイレ

わるい ひとが トイレの
なかに かくれて いるかも
しれないよ。
こどもだけで いかないで
かならず おうちの ひとと
なかに はいろうね。



ちゅうしゃじょう

わるい ひとが かくれて
いるかも しれないよ。
はしって くる くるまと
ぶつかったら たいへん。
こどもだけで いったり
あそんだり しないでね。



11月号では「ポケットに手を入れる危険」について取り上げます。